

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

令和7年9月30日

おい町教育委員会

I 調査の概要

(1) 調査の目的

児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育政策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 実施状況

- 【実施日】 教科に関する調査（中学校理科以外） 令和7年4月17日（木）
生徒質問調査、中学校理科 令和7年4月14日（月）～17日（木）
児童質問調査 令和7年4月18日（金）～30日（水）
- 【実施対象】 小学校6年生 4校 79名、中学校3年生 2校 80名
- 【調査内容】 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）
質問紙調査（生活習慣や学習環境等）

[◎令和7年度 全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料はこちらから](#)

(3) 調査結果の取り扱い

本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面である。また、本町小中学校に在籍する比較的少人数を対象にした調査であるため、年度ごとや学校ごとのばらつきも考慮する必要がある。以上のことに鑑み、序列化や競争につながらないように十分配慮するものとする。

2 〈小学校〉調査結果

(1) 国語科 ※ 【 】内は問題番号

<良好であったこと>

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。【1二】
- 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉える。【1三(1)】
- 話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。【1三(2)】

<改善を要すること>

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。【1一】
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように

書き表し方を工夫する。【2三】

- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。【3三(1)】

(2) 算数科

<良好であったこと>

- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだす。【4(1)】
- 伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見いだし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する。【4(2)】
- はかりの目盛りを読む。【4(3)】

<改善を要すること>

- 基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述する。【2(4)】
- 分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する。【3(2)】
- 数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉える。【3(3)】

(3) 理科

<良好であったこと>

- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果をもとに結論を導いた理由を表現する。【1(2)】
- 赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、他の条件での結果を予想して表現する。【1(3)】
- 発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する。【3(3)】

<改善を要すること>

- 身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識が身に付いている。【2(1)】
- 乾電池のつなぎ方について、直列つなぎに関する知識が身に付いている。【2(4)】
- 顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能が身に付いている。【3(2)】

(4) 質問紙 ※ ()内は質問紙番号。下線は家庭における状況に対する質問項目。

<良好であったこと>

- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。(31)
- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。(32)
- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。(33)
- 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。(34)
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。(37)
- 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用していた。(28)
- 国語の授業の内容がよくわかる。(46)
- 国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれる。(49)
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。(57)
- 算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。(58)
- 小数や分数の計算をするとき、工夫して計算しようとしている。(59)
- 理科の勉強が得意。(60)
- 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている。(70)
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。(40)
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。(42)
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。(16)
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。(36)

<改善を要すること>

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。(3)
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する。(17)
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強する。(19)
- 新聞を読んでいる。(23)
- 読書が好き。(24)

3 〈中学校〉調査結果

(1) 国語科 ※ 【 】内は問題番号

<良好であったこと>

- 書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考える。【1三】
- 表現の効果について、根拠を明確にして考える。【3一】

<改善を要すること>

- 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。【2一】および【2四】
- 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整える【4一】
- 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える。【3二】

(2) 数学科

<良好であったこと>

- 数量を文字を用いた式で表す。【2】
- 多角形の外角の意味を理解している。【3】

<改善を要すること>

- 素数の意味を理解している。【1】
- 一次関数 $y = ax + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求める。【4】
- 事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげる。【6(1)】

(3) 理科

<良好であったこと>

- 科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現する。【1(6)】
- ガス警報器の設置場所が異なる理由を考える学習場面において、実験の様子と、密度に関する知識および技能を関連付けて、それぞれの気体の密度の大小関係を分析して解釈する。【4(1)】
- これまでに学習した理科の知識及び技能を基に、化学変化の分解の知識が概念として身に付いている。【7(2)】

<改善を要すること>

- 仮説を立てて科学的に探究する学習場面において、電気回路に関する知識及び技能を活用して、仮説が正しい場合の結果を予想する。【3(1)】
- 身近な電化製品の電気回路について探究する学習場面において、抵抗に関する知識が概念として身に付いている。【3(2)】
- 小腸の柔毛、肺の肺胞、根毛に共通する構造について学習する場面において、共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈する。【7(1)】

(4) 質問紙 ※ ()内は質問紙番号。下線は家庭における状況に対する質問項目。

<良好であったこと>

- 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。(31)
- 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を使用していた。(28)
- PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる。(29-4)
- 国語の勉強が好き。(45)
- 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。(63)
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。(42)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。(10)
- 友達関係に満足している。(14)
- 人が困っているときは、進んで助けている。(8)

<改善を要すること>

- 1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。(34)
- インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができる。(29-2)
- 数学の勉強が得意。(52)
- 数学の勉強が好き。(53)
- 数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。(57)
- 理科の勉強が得意。(60)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。(3)
- 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強する。(17)
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり2時間以上勉強する。(19)

保護者の皆様へ

おい町教育委員会では、これまで学校施設・備品や人員配置の充実など、教育環境の整備を進めてきました。各学校でも、児童生徒理解を基盤に授業改善と校種間連携を図り、近年は探究学習と教育DXを重点に取り組んでいます。

今回の全国学力・学習状況調査では、強みとともに課題も確認されました。町としては結果を真摯に受け止め長期的な視点で施策をさらに磨き、各校が実態に即した改善を進められるよう指導支援していきます。（各学校の結果や取組みの詳細は、各校より配布の「分析結果と今後の取組」をご覧ください。）

一方で、調査結果からは、毎回、子どもたちの家庭における生活習慣や学習習慣に課題が見られます。特に、全国的に指摘されているスマートフォンやテレビゲームの影響について、本町においても同様の傾向が確認されます。

睡眠不足、学習や読書の時間減少、集中力の分断（通知確認、ショート動画、SNSの連続視聴）、情報の偏りや視野の狭まり（フィルターバブル、エコーチェンバー）、精神面への影響（誹謗中傷、自己肯定感の低下）、現実的な危険（課金、個人情報の拡散、不特定多数との不適切なやり取り）等、弊害を認識していただき、ご家庭での取組みをお願いいたします。

町・学校・家庭が同じ方向を向くことが、子どもたちの力を最も伸ばすことにつながります。今後も、家庭・地域・学校の連携を強化し心身ともに健やかな成長を支えてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。